

| | | | | | | |
|-------------------------|----------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 02 04 01 | 事業改善シート（令和2年度実施事業分） | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 地域情報化推進事業費 | 部局 | 企画振興部 | 課・室 | DX推進課 | |
| | | 実施期間 | ～ | E-mail | dx-promo@pref.nagano.lg.jp | |
| 総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0) | | | | | | |
| 8つの重点目標 | 付加価値を高め、経済成長を実現 | | | | | |
| 総合的に展開する重点政策 | 1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 | | | 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保 | | |
| | 3-7 先端技術の積極的な活用・導入 | | | 4-1 県土の強靱化 | | |

1 事業の概要

| | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|-------|-------|--------|-----|------|-------|-----------|--------|---------|
| 事業の現状・目指す姿 (予算編成時) | 【現 状】 | | | | | | | | | |
| | <p>○未来の長野県を担うICT人材育成の取組や先端技術の活用が広がりつつある。</p> <p>○御嶽山では、「御嶽山防災力強化計画」に基づき、ハード面・ソフト面の対策が実施されてきたが、警戒が必要な火口から半径2km内の「二ノ池周辺登山道」には携帯電話不感地域が存在し、緊急速報メール等による情報伝達ができない状況。</p> <p>○先進の4K画像等の映像を活用し、県内外に向けた本県の魅力発信に取り組んでいる。</p> <p>【目指す姿】</p> <p>○未来を担う子供・若者にICT利活用の素養と感性を身に付ける機会を提供し、高度なICT人材の育成に資する。</p> <p>○人口減少や担い手不足、公共交通の疲弊等、様々な問題を抱える中山間地域に対し、先端技術とシェアリングの考えを取り入れ、持続可能な地域の構築に資する。</p> <p>○登山者等に噴火速報等を迅速かつ確実に伝達するため、御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <p>アプリコンテスト及びハッカソンの開催、御嶽山における携帯電話不感地域解消のための携帯電話基地局整備に向けた補助等</p> | | | | | | | | | |
| 指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし] | | | | | | | 事業コスト | | | |
| No. | 成果指標 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | 目標値 | 達成状況 | | 区分(単位:千円) | R1年度 | R2年度 |
| 1 | アプリコンテスト参加応募作品数 | 68件 | 74件 ↗ | 119件 ↗ | 80件 | 達成 | | 前年度繰越 | 0 | 0 |
| 2 | ハッカソン参加人数 | - | 17名 | 0名 ↘ | 30人 | 未達成 | | 現計予算 | 13,557 | 102,054 |
| 3 | 実証によるデマンドシステム利用者満足度(参考) | - | 50% | - | - | - | | 合計(A) | 13,557 | 102,054 |
| 4 | 御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域 | - | - | 解消 | 解消 | 達成 | | うち一般財源 | 658 | 11,048 |
| | | | | | | | | 決算額(B) | 9,643 | 82,412 |
| 成果指標設定理由 | <p>①未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するアプリコンテストの参加応募作品を設定。</p> <p>②未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するハッカソンの参加人数を設定。</p> <p>③実証によるデマンドシステムの有用性を評価するため、利用者満足度を設定。</p> <p>④御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域の解消を設定。</p> | | | | | | | | | |
| 達成状況の分析 | <p>① 公式ホームページやSNSでの情報発信による広報を強化した結果、目標を上回る応募を獲得した。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ハッカソンの実施を中止した。</p> <p>③ R2年度は、モノの配送を対象とした実証運行及びシミュレーションにより運行モデル構築を実施したため、住民向け利用者満足度調査は実施しなかった。</p> <p>④ R2年度内に竣工し、御嶽山「二ノ池周辺登山道」における携帯電話不感地域を解消した。</p> | | | | | | | | | |
| 主な取組 | <p>✓未来の長野県を担うICT人材の育成を支援</p> <p>○アプリコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度で6度目の応募件数は、過去最多 119 件。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、オンラインで開催した。 <p>○ハッカソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策の観点から十分な対策ができないと判断し、実施を中止した。 <p>✓中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、デマンドシステムによる実証事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の実証結果を基に、「ヒトのついでにモノ」ではなく「モノのついでにヒトの乗り合い余地がどの程度あるか」を検証する実証実験及び委託により運行シミュレーションを行い、運行モデル及び横展開マニュアルを作成した。 <p>✓御嶽山における携帯電話不感地域の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 御嶽山の登山者等に噴火速報等を迅速かつ確実に伝達するため、火山周辺において携帯電話基地局等を整備し、携帯電話不感地域を解消した（サービスは開山期のみ）。 <p>✓行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の実証を県と市町村等の共同で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と市町村等による先端技術活用推進協議会及びスマート自治体推進ワーキンググループにおいて、行政事務の効率化に向け、作業の自動化を行うRPA、紙ベースのデータのデジタル化を行うAI-OCR及びAI音声文字起こしのシステム共同化に向けた実証を実施した。 | | | | | | | | | |

2 今後の事業の方向性

| | | |
|--------------------|--|---|
| 今後、事業をどのようにしていきたいか | 課題等 | 今後の方向性 |
| | <p>①②現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要。</p> <p>③中山間地域における地域交通最適化の手段の1つとしての貨客混載の実装に向けては、運用面における利害関係者の理解や費用対効果等、更なる検証が必要。</p> <p>④御嶽二ノ池付近の携帯電話不感地域解消は完了したが、県内には山岳登山道等の一部地域において、未だ不感地域が存在。</p> <p>行政事務の効率化のために情報システムの共同化に着目したが、情報システムのみならず業務プロセス改革に着目した共同化の検討が必要。</p> | <p>引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施。</p> <p>本実証事業の結果共有や市町村向け勉強会等の活動を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施。</p> <p>引き続き、必要な都度、携帯電話不感地域の解消への取組を検討。</p> <p>行政事務の更なる効率化に向けて、業務プロセス改革などを含む「DX推進手法共同化」へと目標を広げ、取組を拡大して実施。</p> |

| | | | | | |
|-----|------------|----|-------|-----|-------|
| 事業名 | 地域情報化推進事業費 | 部局 | 企画振興部 | 課・室 | DX推進課 |
|-----|------------|----|-------|-----|-------|

| 細事業 No. | 細事業名 | R1年度 決算 | R2年度 決算 |
|---------|----------------|-----------|-----------|
| 1 | 未来のICT人材育成支援事業 | 551 千円 | 371 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和2年度 実施内容(実績) |
|-----|-----------------|------|--|
| 1 | 信州未来アプリコンテスト開催費 | 直接 | 未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、信州未来アプリコンテスト0（ZERO）を外部団体と連携して開催 |
| 2 | データ利活用人材育成ハッカソン | 直接 | 未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、データ利活用人材育成ハッカソンを開催 |

| 細事業 No. | 細事業名 | R1年度 決算 | R2年度 決算 |
|---------|-------------------------|-------------|-------------|
| 2 | 中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費 | 9,092 千円 | 6,761 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和2年度 実施内容(実績) |
|-----|-------------------------------|------|--|
| 1 | 交通・物流の運用モデルシミュレーション及びモデル構築委託料 | 委託 | 令和元年度実施のデマンドシステムの運行実績データ及びアンケートの分析結果を元にした、新たな移動・配送モデルの検証及び地域交通・物流の汎用的な運用モデルを構築 |

| 細事業 No. | 細事業名 | R1年度 決算 | R2年度 決算 |
|---------|----------------------|---------|--------------|
| 3 | 御嶽山における携帯電話不感地域解消事業費 | 0 千円 | 64,249 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和2年度 実施内容(実績) |
|-----|------------------|------|--|
| 1 | 移動通信用鉄塔施設整備事業補助金 | 補助金 | 御嶽山における携帯電話不感地域解消のための携帯電話基地局及び電源設備整備に対して補助 |

| 細事業 No. | 細事業名 | R1年度 決算 | R2年度 決算 |
|---------|---------------------|---------|-------------|
| 4 | 県と市町村によるスマート自治体実証事業 | 0 千円 | 8,635 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和2年度 実施内容(実績) |
|-----|---|------|--|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症に対応した県と市町村によるスマート自治体実証事業の実施に関する経費 | 直接 | 「先端技術活用推進協議会スマート自治体推進ワーキンググループ」において、行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた実証に必要な機器に係る経費 |
| 2 | 実証支援業務委託 | 委託 | 「先端技術活用推進協議会スマート自治体推進ワーキンググループ」において、行政事務の効率化に向けたソフトウェア等の共同調達・利用に向けた実証の支援 |

| 細事業 No. | 細事業名 | R1年度 決算 | R2年度 決算 |
|---------|----------------|---------|-------------|
| 5 | ICT人材育成・活用促進事業 | 0 千円 | 2,396 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和2年度 実施内容(実績) |
|-----|-------------------|------|--|
| 1 | ICT人材育成・活用促進実証委託料 | 委託 | ICTに係る人材育成及び利活用を促進するため、ICT活用スキルを有する学生を教育現場等に派遣し、課題把握やICT活用マニュアルの作成・提案を実施 |